

6月20日は『世界難民の日』



難民のいま、そしてこれから

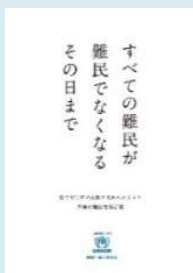
© UNHCR

世界には、紛争や迫害などにより、1億人以上の人々が住み慣れた故郷から避難を余儀なくされています。

困難に直面する難民がいるということを知り、学ぶことで、私たちにできることを考えましょう。

6/19 金 ▶ 6/26 金 ※土日除く

写真展 会場：神奈川県庁新庁舎ロビー



写真提供：国連UNHCR協会

6/4 木・6/18 木

映画上映会

破壊される故郷を撮影するパレスチナ人青年と、彼の活動を支えるイスラエル人青年の友情を、4年間にわたり記録したドキュメンタリー

6/17 水

多文化共生セミナー

鎌倉市の認定NPO法人「アルペなんみんセンター」のコーディネーターによるセミナー開催

6/2 火 ▶ 6/30 火 ※月曜休館

特設展示(映像ライブラリー)

難民に関連する書籍を展示する特設コーナーを設置

6/20 土

ブルーライトアップ

6月20日「世界難民の日」の日没後、県庁本庁舎をUNHCRブルーにライトアップ



神奈川県

KANAGAWA

お問い合わせ先：神奈川県 文化スポーツ観光局 国際課 外国籍県民支援グループ
〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通 1 ☎ 045-285-0543

- 主催 神奈川県
- 協力 UNHCR駐日事務所 国連UNHCR協会（公財）かながわ国際交流財団
認定NPO法人アルペなんみんセンター
神奈川県立地球市民かながわプラザ（指定管理者：公益社団法人青年海外協力協会）

01 映画『ノー・アザー・ランド 故郷は他にない』上映

破壊される故郷を撮影するパレスチナ人青年と、彼の活動を支えるイスラエル人青年の友情を、4年間にわたり記録。
【2025年/アラビア語/日本語字幕/95分/ドキュメンタリー】

入場
無料

日程 6月4日(木)・18日(木)
14時00分(13時30分開場) 場所 地球市民かながわプラザ
(あーすぶらざ)5F映像ホール
定員 120名(当日先着順) ※予約不要

02 多文化共生セミナー (オンライン)

ともに暮らす ～難民受け入れの現場から見えること～

難民支援に取り組む、鎌倉市のNPO法人「アルペなんみんセンター」のコーディネーターを講師に招き、日本における難民の現状や地域での受け入れの取り組みを具体的に知り、難民の人たちを隣人として迎え入れるために、私たちにできることは何か一緒に考えます。



日程 6月17日(水)
18時30分から20時00分 申込 右記QRコードから
お申込み下さい。

講師 松浦由佳子



(認定NPO法人アルペなんみんセンター理事、定住支援コーディネーター)
国際基督教大学卒業後、国際協力機構(JICA)で開発途上国の
貧困削減や災害援助に携わる。駐在先のアフガニスタンでの出会
いがきっかけで日本国内の難民問題に関心を持ち、転職。2022
年からアルペなんみんセンターで日本に逃れてきた難民の定住支
援を担う。コロンビア大学国際関係修士、オーストラリア国立大学
アラブ・イスラム研究センター中東・中央アジア研究修士。

03 特設展示(映像ライブラリー)

子どもから大人まで幅広い世代に役に立つ、難民に関する書籍や映像資料を展示します。

日程 6月2日(火)から30日(火) ※月曜休館(9時00分～17時00分)

場所 地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ)2F映像ライブラリー内

04 ブルーライトアップ

6月20日「世界難民の日」日没後、日本の各地の
ランドマークがUNHCRブルーに染まります。

日程 6月20日(土)
日没後:18時30分～20時30分

場所 神奈川県庁本庁舎



05 写真展

すべての難民が難民でなくなるその日まで
果てしなく積みあがる数字の向こうに、私たちと何ひとつ
変わらぬいのちと人生があります。UNHCRは130か国
以上で、故郷を追われた人々のいのちと尊厳を守り、
新たな生活を築くための支援を続けています。



日程 6月19日(金)から26日(金) ※土日除く

場所 神奈川県庁新庁舎ロビー

難民のことを知り
学ぶことから
はじまる

